

海外子会社における 監査・内部統制の実効性向上実務セミナー

～海外子会社監査・内部統制・グローバルなリスク管理の実効性向上に向けて～

日 時 平成 26 年 9 月 12 日 (金) 10:00 ~ 17:00
計 6 時間 (1 日間)

会 場 NHK 名古屋放送センタービル内教室

講 師 日本マネジメント総合研究所 理事長
元・国連内部監査業務専門官 M B A 戸 村 智 憲 氏

対 象

- 監査役、内部監査・内部統制部門の方
- リスク管理・コンプライアンス・CSR部門の方
- 海外展開を検討中の企業、国際業務にお悩みの方

本セミナーの強化ポイント

- 海外子会社に対して、実効性のある監査・内部統制・リスク監査などを行うために必要な基本と実務ポイントを学びます。

講 義 項 目

1. 海外子会社等の問題事例の考察と グローバル監査人としての課題

- 日本で育った日本人の常識を携えた人材は海外拠点で実効性ある対応ができるのか？
- 鍵を握るのは語学力より胆力・適応力・調整力
- グローバル化する不祥事・リスク管理対策の要請
- あなたなら同僚監査人や他社監査人にどんなアドバイスをしますか？
- 国際化における多様なリスクの把握と対策
- 海外不祥事例からみた日本本社・役員・幹部などの課題と対策
- 細則主義型監査から原則主義型グローバル監査対応への転換と課題・対応
- グローバル監査人として求められる素養・スキル・ノウハウ
- 事例ディスカッションで学ぶ国際的監査の現状 等

2. 現地業法や倫理観の衝突リスクへの対応

- 日本本社の策定したコンプライアンス施策は全世界共通に有効か？
- 日本本社の常識が通用しないグローバル環境下での「倫理観の衝突リスク」(CRE)
- 「眞実は揺れ動きながら存在する」という理解と対応
- 日本本社を中心にした国連のようなグローバル監査コミッティ設置策
- グローバル・ミッション・ステートメント策定による各拠点の参画意識向上と調整機能
- 現地業法とのバッティングに備えたソフト・ロー的監査対応
- 現地監査人や現地専門家との連携 等

3. グローバル監査人必須の知見・スキル・ノウハウ

- ダイバーシティというリスク要因
- 公益通報で早期発見・早期是正するグローバルホットラインの運用ポイント
- IT 監査対応と国際的訴訟における e ディスカバリーの実態
- あなたの論理的思考の前提が偏っていて国際的に誤った帰結を論理的に導いていないか？
- 異文化理解と組織文化のポイント
- 監査クリエイティビティによる現地での監査上の創意工夫とイノベーション
- 「7つの文化尺度」による監査上の3つの留意点と異文化理解の「3 R の原則」
- 「価値フリー」で現場をまっさらの状態で見据える監査姿勢
- 違和感を大切にするリスク感度の強化
- 事例ディスカッションで学ぶ監査における異文化理解・異文化適応 等

4. 質疑応答・まとめ

- グローバル監査やグローバルビジネスに関する各種お悩み・ご質問がございましたら、可能な範囲で講義内容以外の課題・疑問についてもお答えさせていただきます。
- 事前のご質問・ご要望などございましたら、お申込み窓口にお伝え頂ければ可能な範囲内で研修内・研修後に対応させていただきます。

※プログラムの順序や内容等は、最新動向や状況・事前ご質問・ご要望等に応じて改訂・変更する場合がございます。

担当講師より

国連という特定の国のみの法律やビジネス慣行だけでは乗り切れない組織において、実際に、様々な問題が起こり解決に向けた交渉や対応を余儀なくされた中で、何を大切に見据え対応すべきかなどについて、実体験を交えつつお話しさせていただきます。グローバル化は単に海外進出すれば良いだけのものではなく、健全に、国際間の課題・問題に取り組み成長していく能力と知見の育成にお役立て頂けましたら幸いです。

《講師派遣による「社内研修」も承っております。お気軽にお問い合わせ下さい。》



一般社団法人 日本経営協会

